



# 心ひとつ



第20号  
2017.4



「会話の達人」  
(介護福祉士)



「おいしい透析食のプロ」  
(管理栄養士)



「人材育成の達人」  
(介護福祉士)



「フットケア指導士」  
(看護師)

## 仁誠会のスペシャリスト達

仁誠会は「心ひとつ」法人理念のもと、専門スタッフによる最強のチームで、患者さん・利用者さんのサポート活動を行っております。



「ICLSインストラクター」  
(看護師)



「体の声を聴く名人」  
(臨床検査技師)



「微生物と戦う戦士」  
(臨床工学技士)



「認知症エキスパート」  
(介護福祉士)

### 目次

#### 2-5 平成29年度事業計画 仁誠会理事長方針を受けて

- ・ 介護医師科方針・看護部長方針
- ・ 技士部長方針・介護部長方針
- ・ 栄養科方針・フロント方針

#### 6-7 永年透析 20年・30年・40年を語る

#### 8 地域の元気をサポート

- ・ 「健康講話」「ボランティア講習会」の第2期スケジュール
- ・ 第15回 赤とんぼ杯ダーツ大会予告
- ・ 「オレンジカフェ赤とんぼ」の開催場所変更のお知らせ

「仁誠会のスペシャリスト達」の情報はホームページにて掲載中  
<http://www.jinsekai.or.jp/>



## 平成29年度 仁誠会理事長方針

# 患者さん・利用者さんへ

## 『笑顔』と『元気』と

## 『勇気』をお届けします



### 介護医師

## 自分らしい生活を支援します



介護老人保健施設 施設長  
医師 児玉幹子

介護老人保健施設ケアセンター赤とんぼは、今年度開設17年目を迎えます。

私たちは、『自立支援』『認知症予防・対応』『地域貢献』に重点を置いて、皆さんへ『笑顔』『元気』『勇気』をお届けします。

介護度が比較的軽く、在宅が可能な方には積極的に在宅支援を行います。「できることは自分ですること」はご本人の自尊心を保ち、生きがいに繋がります。私たちは、生活の中での課題を明らかにして、具体的な目標を定め、機能訓練や生活動作の訓練を行います。その為にはご本人の意欲はもちろん、ご家族や居宅ケアマネージャーさんとの連携が大切です。ICFステージングの活用、ご自宅訪問、入所では試験外出・外泊などを積極的に行う予定です。ご本人とご家族を支え、在宅療養が安全・確実にできる『在宅支援のプロ』を

ケアセンター赤とんぼ／仁誠会クリニックながみねの桜も満開となりました。明るい春の訪れと共に仁誠会は、平成29年度を迎えることになりました。

昨年4月の熊本地震で皆様には多大なご迷惑をおかけしまして誠に申し訳ございませんでした。皆さんの寛大なご支援とご理解・ご協力のおかげで、いち早く通常運用に戻すことができましたことに、深く感謝しています。

地震により被災を受けて辛い思いもしましたが、改めて当たり前の日常生活の有り難さを実感することもできました。水道蛇口から水が当たり前に出ること、ガスを当たり前に使用できること、電気を当たり前に使用できることなど、些細なことすべてに感謝することができ、人と人の絆にも改めて感謝することができました。

また、世界に目を向けますと、フィリピンやカンボジア、モンゴルなどでは未だにストリートチルドレンと呼ばれる恵まれない子供たちが一日一日を必死で生活しています。4歳の子供がゴミ捨て場の山の中で朝から晩までお金になる物や食べ物を探して

生きている現実が実際にあります。彼らの一番の夢は大人になるまで生きぬくことです。心優しい日本人として生まれてきた私たちは、今の当たり前の日常生活に感謝をして一生懸命生きていくことが彼らに対しての最大の支援だと思えます。

今年度、私たち仁誠会職員一同は患者さん・利用者さんへ『笑顔』と『元気』と『勇気』をお届けします。一度きり人生を大切にして楽しく生きていきたいと思います。

我々にできることは元気に長生きできるように支援することと、老いるとは苦しむことではなく楽しむことであるということを体感してもらうことです。

そのためには、よりきめ細かに最新の情報提供を行い、アンチエイジングや予防医学、そして例年以上の催しものに取り組んでいこうと考えています。

どうか皆さん、一緒に楽しい時間と空間を体感しましょう。そして、すべての事象に感謝して共に人生を有意義なものにしていきましょう。

医療法人社団 仁誠会

理事長 田尻 哲也

### 看護部

## 平成29年度 事業計画方針 患者・利用者に寄り添い、 ついでに、ついでに、だれにでも



看護部長  
仁誠会 吉本 涼子

仁誠会は 医療と介護の両方から患者さん・利用者さんをサポートでき、生き活きとした職場です。看護部はベテランが多く、子育て中の看護師も安心して働いています。働き方も、現場のニーズに沿いながら、ワークライフバランスを考えたい支援や協力体制をとっています。

29年度の看護部目標は、『笑顔』と『元気』と『勇気』をお届けするために、専門職としての役割を果たすこととし、「患者・利用者に寄り添い、いつでも、どこでも、だれにでも」をキーワードとしました。いつ何時、病める人にも元気な人にも、そばにいて身近な相談役として、役割を果たしていこうと考えています。

特に今年度は、フットケアを重点的に実施し、患者さんと共に足の重要性を感じ、自分の足で日常生活の元気を支え、そして、活動的な運

動を支援し、その先に患者さん・利用者さんの笑顔がみられることを期待しています。

糖尿病外来、CKD外来等での指導や、健康講座などの計画も立案、患者さんに勇気をもって参加していただけるような、皆さんの情報を提供できるような専門的知識を深める研修も実施していく予定です。

学んだ知識を、他職種と共有する勇気・そして共有することでの一体感で元気満載の職場にしていきます。元気な職場には笑顔が多くなります。そんな29年度にしていきたいと思います。

理事長の考える、『笑顔』と『元気』と『勇気』をお届けできるように支援をするためには、原点回帰を忘れず、自分がなぜ看護師を目指したのか、看護師として、どうなりたいか、患者さん、利用者さん第一に考え何ができるか、を考え形にしていく一年にしたいと考えています。看護部の理念である、やさしく、やわらかく、あたたかく、寄り添った看護を提供するためにも初心を忘れない一年にしていきたいと思います。

平成29年度 事業計画方針  
「気が利く」 技士になる



仁誠会 技士部長  
宇並 美佐子

今年度の理事長方針「笑顔と元気と勇氣」を患者さんにお届けするという方針を受け、技士部として何ができるか考えました。数少ないのですが患者様から職員の良いところを聞いたところ、共通していただいたお言葉が「気が利く」ことです。元来、臨床工学技士や臨床検査技師では対象が人ではなく機器や検査値に目が行きがちです。しかしながら専門業は当たり前のこととして、機械のチェックをするときに患者さんのちょっとした動作に気づけたり、エコーを撮るときに患者さんからのちよつとした悩みが聞けるようになったりとかそこに「気づき」があり、医療人として患者さんを元気づけられるような存在になって欲しいと思っています。また患者さんにとって穿刺が一番よねという言葉はよく聞きます。今までも穿刺技術の向上に向けエコー

ガイド下穿刺など取り組んできましたが、今まで以上に今年度は穿刺への気配り、それこそ「気が利く」対応を心掛け、穿刺技術を磨き、痛みのない穿刺、失敗しない穿刺など力を入れていく予定です。他にも透析の源である「水」や「人工腎臓」についてなど患者さんにも知識として知っていただきたいことなどの情報を提供することで、透析と共に生きる知恵、勇氣をお届けできるように努力していきたいと思えます。さらに専門職として研究を推進し、資格取得推進、各種勉強会講師、学会発表など力を入れていきます。また昨年度、今年度はたくさん

の新人技士さんを迎えました。この新人さんたちが専門職、医療人として自立して患者さんと共に歩んでいけるよう支援していきたいと思えます。そして臨床工学技士の〇〇さん、臨床検査技師の〇〇さんと患者さんに名前覚えていただけたらと思っています。今後とも皆さまのご支援の程ほどよろしくお願ひいたします。

平成29年度 事業計画方針  
「健やかにより良く生きる」を応援します



仁誠会 栄養科主任  
仁誠会クリニックながみね  
管理栄養士 赤塚 薫

管理栄養士の役割は何でしょうか？ 皆さんに日々美味しい食事を提供し喜んで頂くこと、病気や高齢化により、食べることや栄養面で問題を抱えておられる方への食事の支援などがあります。「食べること」は「生きること」につながり、人間の生活の中でも大切な要素です。私達は皆さんの「食べること」を精一杯サポートし、これからの人生を健やかにより良く生きるためにお役に立ちたいと考えています。そこで栄養科は初心に帰り、「管理栄養士として貢献する」を今年度の目標としました。

- ① 患者さん、利用者さんの食べる楽しみ、感謝の気持ちを引き出し「笑顔」にします。
- ② 健やかに生きるために食事療法や生活改善の手助けを行い、「元気」にします。
- ③ 皆さんの自己実現を応援し、一歩を踏み出すために「勇氣」づけます。
- ④ 積極的に関わりやすい説明を行います。
- ⑤ チーム医療の要として、管理栄養士としての専門性を発揮します。

平成29年度 事業計画方針  
「明るい未来を信じて」一人ひとりが成長します



仁誠会 介護部長  
東 健一

昨年度は、熊本地震という大きな災害にみまわれました。今まで当たり前に出ていた生活が、当たり前ではない事に気づかされました。精神的にも身体的にも苦しい中で、前を向き、私達は力を合わせ、「心ひとつ」で乗り越え、元の生活を取り戻しつつあります。介護部の方針「明るい未来を信じて」を掲げ、全体で前進していきます。①利用者満足度の向上 ②職員満足度の向上

活を送る事が出来るように、職員の専門性を強化していきます。また、自立支援への取り組み、抱えない介助の浸透、定期的な内部・外部研修への参加など、それぞれの職員が、自らの成長を実感できる目標を設定し、それに向かって、専門性を大切に、他職種連携を強化し進めていきます。更に、利用者・家族を全職種（チーム）で、サポートする体制を築いていきます。その他にも、接遇面の強化らS活動、楽しみの充実（ダイバーショナルセラピー）などの展開と同時に、介護老人保健施設としての役割を大切に、利用者・家族の満足度向上につなげていきます。

私達は、「明るい未来を信じて」仕事ができる喜びを感じ、互いに感謝しながら、支え合う精神を大切にしていきます。福祉の仕事に誇りを持ち、それぞれが自信をつけ、やりがいや楽しさを見出し、法人の理念でもある「心ひとつ」で平成29年度も前進していきます。

平成29年度 事業計画方針  
「接遇の第一印象は、0.3秒で決まる」最高の笑顔をお届けします



仁誠会 フロント科長  
介護：磯崎 美千代 (左)  
医療：十時 文香 (右)

フロントの基本方針は3つです。①対応する全ての方へ思いやりをもつて接する ②業務を正確に早く処理する ③介護・医療の仕事を確実に収益に繋げる 私たちフロントは来訪者に対して他のスタッフよりもいち早くお迎えしたり、お帰りの際にはお見送りをすると、印象度の高い業務を行っています。介護・医療共に窓口では、病気の方や、多くの悩みを抱えている方々の対応をさせていただいています。補佐的に現場業務に携わる事もあります。直接的に治療や介護に携わる事は多くありません。しかし私たちの「笑顔」とちよつ

## 透析20年を迎えて

それからもう20年が経つ。  
まだまだ元気で人生を楽しみたいと  
願っています。



林 定男さん  
(仁誠会クリニック大津)

私は熊本中央病院から紹介され、縁がありこの大津第一クリニック（現在の仁誠会クリニック大津）で透析をするようになりそれから20年が経ちます。今思うとすごく短い時間だったと感じています。たくさんの事を経験してきましたが、それは透析だけではなく、自宅が高森とのこともあって、車の通院でも大変な思いをしました。当時、透析どころではない状況にもなりましたが、たくさんの支援を受け、おかげで現在も透析と仕事を続けている事ができています。昔は、患者同士や職員さんたちとボーリング大会や運動会、釣り、ゴルフなどにもよく参加していました。当時の職員さんたちも今はいなくなり、少し寂しい気もします。今後は農業を続け、たまには妻と旅行などでゆっくりした時間を過ごしたいなと思っています。通院のため通っていた道路が、熊本地震で寸断され、以前の状態になるまでにはまだまだ長い時間を要すると思いますが、趣味や仕事そして透析を続けられることに感謝しています。透析導入の時に「あと5年の命」と半端諦めの気持ちもありましたが、それからもう20年が経ち、今ではまだまだ元気で人生を楽しみたいと願っています。今後とも宜しくお願い致します。

## 透析30年を迎えて

いつも側でいろんな  
サポートをしてくれる  
主人に感謝しながら…



児玉 静江さん  
(仁誠会クリニックながみね)

月日がたつのは早いもので、透析を始めてもう30年です。最初は透析がどんなものかもわからずシャントの手術です。忘れもしません。手術と聞いただけで主人が心配して病室に泊まり込んで付き添ってくれました。今、思えば大げさすぎて笑ってしまいますが、その頃は不安で簡単な手術も大手術に思えたのです。でも現在の会長の田尻先生がいいからいいからと言って下さって、私の部屋に主人用の簡易ベッドを用意して下さい、ほんとうに優しい先生です。看護師さん、技師さん、他のスタッフの皆様を支えながら私の透析生活が続いていきました。今西さんは40年だそうですね。30年と40年とでは比べものにならない程の10年間だと思います。透析の目覚ましい進歩によって、私は楽な透析生活ができてきたと思っています。今西さんとは夜間透析で一緒になり、先輩としていろんな事を教えて頂きました。とても感謝しています。今、現在の私は頸椎の手術をし、その後脊柱間狭窄症の手術と入退院の繰り返しで、歩行困難の為、リハビリの毎日を過ごしています。ともすれば、心が折れそうになる事もあります。人間一人ではありません。先生方、スタッフの方々に囲まれながら、毎日を頑張っています。これから40年を目指して今西さん達の背中を見ながら、自己管理に努め、自分らしく頑張っていきたいと思っています。もちろんいつも側でいろんなサポートをしてくれる主人に感謝しながら。

## 透析20年を迎えて

### 透析生活20年を振り返って

#### Q. 20年振り返られていかがですか？

「とにかくあっという間、早かったなあ」と言うのが感想です。当時は20年するとは思ってなかった。透析を始めたのは娘が高校生の時で…主人にも随分迷惑をかけた。娘が高校卒業してからは仕事が休みの日は透析に送ってくれたり…」

#### Q. 特にご苦労された思い出等がありますか？

苦労とか別れないけど、シャントはもう何回も作り直してる。初めてシャントを作った時は翌日にはシャントの音が聞こえなくて即日オベしてもらったり…。今のシャントは大津の下村先生に作ってもらった。一番長持ちしてる。シャントのオベが多くて主人に迷惑をかけたね]

#### Q. これからやってみたい事とかありますか？

今は目も不自由で車イスだし、特にやってみたい事とかない。ただ、結婚した娘が孫を連れて時々戻ってきて、色々世話をしてくれるのがうれしいし楽しみになってるかな]



田代 のり子さん  
(仁誠会クリニック黒髪)

様々な試練に遭遇しながらも、ご家族の温かい思いに支えられて、20年の透析生活を歩んでこられた田代さん。これからも田代さんの透析生活が充実したものになるよう、私達もその歳月を支えていきたいと思いました。お話をありがとうございました。

インタビュー：看護部 福岡

# 永年透析 20年 30年 40年 を語る



## 永年透析表彰おめでとうございます

### 透析40年を迎えて

#### 暗闇にひとすじの光が見え、透析を受け入れられた田尻宗誠先生からの声かけ…



今西 真弓さん  
(仁誠会クリニックながみね)

おかげ様で、透析40年を迎える事が出来ました。これも、田尻宗誠先生をはじめ、日頃お世話になっております先生方、スタッフの皆様、透析の先輩や仲間の皆様、友人や家族など、私の周りのたくさんの方々に支えられて来たおかげだと本当に感謝の気持ちでいっぱいです。思い起こせば42年前、中学3年生になったばかりの頃、突然、腎臓病の診断を受けそのまま入院となりました。夢や希望もある学生生活を送っていた私は、入院により、学校にも行く事も出来ず月日は過ぎるばかりで、とても辛い毎日でした。手厚い治療をして頂いたにもかかわらず、残念ながら病状は回復することができず入院生活が2年になろうとした頃、いよいよ透析導入ということになりました。当時は透析すると寿命は10年と聞かされておられ、ああ私は26才で死ぬのだな、と絶望のどん底に突き落とされ、深い悲しみでいっぱいでした。そんな時、田尻宗誠先生から「透析が始まって10年なんだから、これから真弓ちゃんが透析の歴史を作っていくんだよ」とお話しを頂きました。私はその言葉がとつても心に響いて、暗闇にひとすじの光がみえたようで透析を受け入れることが出来ました。その言葉があったからこそ、10年、20年、30年、そして40年と生きて来られたと思います。

医学の進歩はずばらしいものでした。今も週3回の透析は変わりありませんが、造血剤やダイアライザーなどの開発により、全身状態が良くなり、透析時間の短縮や食事や水分制限も緩やかになり、昔とは比べものにならないくらい透析は楽になりました。

私の40年の透析人生は、辛い事、悔しい事、悲しい事がたくさんありました。でもそれ以上に、楽しい事、嬉しい事もたくさんありました。透析がなかったらとうに死んでいて経験することさえ出来なかったのです。透析によって生かされた命を、これからも感謝の気持ちを忘れず、自己管理をして、50年を目指して透析と共に歩む人生を素晴らしいものにしていきたいと思っています。

### 透析20年を迎えて

#### 30年40年を目指し、楽しく明るい透析生活を送ります

吉田 浩二さん (仁誠会クリニック黒髪)

透析生活20年を振り返って、先生方を始め、スタッフの方々のおかげで20年を迎える事が出来ました。誠にありがとうございます。

29歳から透析を始め振り返ると、とても早く感じた20年でした。これからも30年40年を目指し、楽しく明るい透析生活を送っていききたいと思っています。これからもよろしくお願いたします。

### 患者新年会

平成29年1月29日（日）メルパルク熊本にて第19回仁誠会ひまわり腎友会の新年会が開催され、楽しいひとときを過ごしました。

仁誠会では、長きに渡り自己管理に努めてこられた努力とご家族の支えに敬意を表し、毎年新年会にて透析歴20年・30年・40年の患者さんに表彰状と記念品を授与しています。

今年の表彰対象の患者さんは全員で7名でしたが、その中で透析歴40年の今西真弓さんが新年会に出席され、表彰を受けられました。



# H29年度「健康講話」・「ボランティア講習会」のお知らせ —第2期スケジュール

赤とんぼでは、それぞれ赤とんぼの専門分野の職員が「健康講話」・「ボランティア講習会」を各月に1回開催しています。4月から第2期がスタートしましたので下記スケジュールをご覧ください。どなたでもご参加いただけます。

●場所:赤とんぼ 5階ホール ●時間:午後1時30分～2時30分 ※参加費無料

日程	健康講話(全5回) テーマ・内容	日程	ボランティア講習会(全5回) テーマ・内容
4/1(土)	<b>健康指導・二重課題</b> ゲーム感覚で、脳と筋力を同時にトレーニング	5/6(土)	<b>認知症について</b> 認知症の理解と高齢者への関わり方
6/3(土)	<b>「転倒予防について」～転ばない!折れない!からだづくり!～</b> 転倒予防・骨・骨密度測定・筋力トレーニング指導	7/1(土)	<b>ボランティアの楽しさ</b> ・ボランティアの楽しさ ・高齢者の自立支援のサポート
8/5(土)	<b>栄養・水分補給</b> 暑い夏を乗り切るための食事は?!	9/2(土)	<b>福祉用具の正しい使い方と介助の仕方</b> ・車椅子の介助実技(転倒予防の視点を含む) ・付き添いの仕方
10/7(土)	<b>介護保険について</b> 安心してご利用いただけるために	11/4(土)	<b>利用者さんとのコミュニケーションの取り方</b> ・利用者さんとの話し方 ・声かけの仕方
12/2(土)	<b>感染対策</b> この冬を乗り切る 感染予防特集	1/6(土)	<b>「実技(赤とんぼにて利用者さんとの交流)」</b> ・どんな活動してみたいのかを事前にヒアリングし、各フロアにて実際に活動してもらう

【お問い合わせ】 赤とんぼフロント(磯崎) TEL:096-331-3737 ※内容が変わる場合もありますので、その際はご了承くださいませ

## ボランティア講習を受けて

赤とんぼや赤とんぼ長嶺でボランティアを始めました



本田 晏子さん

私がボランティア講習会への参加を決めたわけは、家に閉じこもりがちになり、このままではいけないとの思いがあったからです。

近年、ひざの痛みが強くなり水が溜まるようになりました。その痛みはとても強く、身体を動かすことがなにかと億劫になり、外出の回数も減ったのです。そのような私に、ボランティア講習会は外

出をするための理由として絶好でした。

講習会では、ボランティア活動が自らの生きがい作りになることを知りました。そして、私も何か出来ることがないかと考えるようになりました。講習会の講師の方と話すの中で、私が以前から趣味としていた歌唱を生かし赤とんぼ長嶺入居の皆さんと一緒に歌ったり、私の歌を聴いてもらう活動をするようになりました。

現在は月に2回赤とんぼ長嶺を訪問しています。施設の方々には私の歌を喜んでくださり、私も歌うことがとても楽しみです。小さな生きがいを得たことで、外出の頻度が増しただけでなく睡眠の状態も改善し体調も改善してきたと感じている今日この頃です。



## 予告

### 第15回 赤とんぼ杯 ダーツ大会開催

●6月18日(日) 昨年優勝 託麻南校区(白樺会チーム)



## お知らせ

### 「オレンジカフェ赤とんぼ」の会場が 4月16日(日)より変わります

●会場/赤とんぼ長嶺 1階 地域交流室 TEL:096-368-8800



赤とんぼ長嶺

## 医療法人社団仁誠会 相談窓口 (透析・介護のことなら何でもお気軽にご相談下さい)

### ■仁誠会クリニック黒髪

〒860-0862 熊本市中央区黒髪6-29-37  
TEL:096-345-6533 FAX:096-346-3388

### ■仁誠会クリニック大津

〒869-1102 熊本県菊池郡菊陽町原水2973  
TEL:096-232-9595 FAX:096-232-9888

### ■仁誠会クリニック新屋敷

〒862-0975 熊本市中央区新屋敷1-14-2  
TEL:096-211-5151 FAX:096-211-5057

### ■仁誠会クリニックながみね

〒861-8043 熊本市東区戸島西2-3-10  
TEL:096-331-2211 FAX:096-360-4841

### ■仁誠会クリニック光の森

〒869-1108 熊本県菊池郡菊陽町光の森3-1-1  
TEL:096-285-3466 FAX:096-285-3488

### ■介護老人保健施設 ケアセンター赤とんぼ

〒861-8043 熊本市東区戸島西2-3-10  
TEL:096-331-3737 FAX:096-360-7103

### ■赤とんぼ 居宅介護支援事業所

TEL:096-331-3811 FAX:096-360-7103

### ■赤とんぼ 訪問介護事業所

TEL:096-331-8879 FAX:096-360-7103

### ■通所リハビリテーション 赤とんぼ黒髪

〒860-0862 熊本市中央区黒髪6-29-37  
TEL:096-346-3535 FAX:096-346-3537

### ■有料老人ホーム 赤とんぼ黒髪

TEL:096-346-3939 FAX:096-346-3538

### ■有料老人ホーム 赤とんぼ長嶺

〒861-8039 熊本市東区長嶺南6丁目25-97  
TEL:096-368-8800 FAX:096-368-1188

### ■小規模多機能ホーム 赤とんぼ長嶺

TEL:096-368-8885 FAX:096-368-1155

### ■仁誠会クリニックながみね

#### 訪問リハビリテーション事業所

〒861-8043 熊本市東区戸島西2丁目3番10号  
TEL:096-331-2211

### ●個人情報保護について●

仁誠会では、当施設が保有している患者さん、その他関係者の個人情報に関して、関連法令・他法令を遵守し、個人情報の保護に取り組んでいます。個人情報は、当法人からの医療や介護サービスに関わる情報のご案内以外、他の目的には使用いたしません。

仁誠会窓口メールアドレス  
jinseikai-madoguchi@jinseikai.or.jp

ホームページ [仁誠会](#) [検索](#)